



会報

東京出雲崎会

東京出雲崎会
会長 中川久雄
発行責任者 石川庄一
Eメール: ishikawashoichi7@gmail.com
携帯電話 080-1300-3138

2023年度

第25号 (80周年記念)

令和5年1月吉日

同郷の友が集いて 80周年 愛郷一途 故郷礼讃

絆深めて百周年へ!

この度、私ども「東京出雲崎会」は、創立八十周年の佳節を迎えました。

コロナ禍の中にあっても、先輩諸兄姉の皆様の故郷・出雲崎への熱き思いと会員各位のご協力で心より感謝申し上げます。

私どもは、八十周年の輝かしい歴史に誇りを持つと共に、この期に当会の歴史を振り返ることも意義があると感じ、ここに、あらためてご紹介いたします。

創立の淵源

昭和十六年、日独伊三国同盟等、慌ただしい世相の中、出雲崎尋常高等小学校の校長を務められた、故・長谷川善作先生の法要が尼瀬(稲荷町)の「養泉寺」で行われ、その席上、当時世田谷で開業医を営む、平澤順一郎氏などから「京浜地区在住者による懇親会」のことが話題となり、それが起因となって翌十七年に京浜地区在住の出雲崎小学校の卒業生数名にてお盆休みを兼ねた同窓会が平澤氏邸で開催されました。その席には後に初代会長に就任された佐藤三千三郎氏や、後の幹事長の嶋川潤蔵氏など

七、八名が出席。尚、そこには前もって平澤氏より連絡を受けていた「出雲崎おけさ」の名手、小町南山・名達正城中川寅吉・小町弥太郎の各氏や三味線、踊り子の方々も馳せ参じ、大変賑やかな会合となりました。



この席上、「町出身者の会を設立しては」との発言に全員賛同・衆議即決。これが「東京出雲崎会」の創立の端緒となりました。(当日、踊り手として参加された伊藤丈山氏の証言による)

翌年の昭和十八年初代会長の佐藤三千三郎氏らが中心となり「東京出雲崎会」設立総会が開催されました。

以後八十年の歴史を重ねてまいりました。

他方、戦後に東京西越会も発足していましたが、昭和三十三年の町村合併によって相互の会も合併し新生「東京出雲崎会」となり、日本閣において六十一名の参加者で第一回総会が開催されました。

推移と活動状況

平成四年の時点で会員数は五百余名でありましたが、組織継承を目標に、新会員獲得へ積極的に活動を展開、会員数も千名を超え平成二十二年総会では参加者の三割強が戦後世代となりました。

会の主要行事は、三月の土曜日に開催の「定時総会・懇親会」と年五回の役員会及びこれに並行して各種委員会を開催しております。

故郷出雲崎への協力及び連携活動として、十年ごとの記念事業や集中豪雨や中越沖地震時には義援金贈呈、船まつりや花火大会の協賛、ふるさとバスツアー(七年連続)と姉妹都市の柳津町親善訪問等を推進。平成二十年十一月、新宿・住友ホールで開催の良寛生誕二五〇年記念遺墨展の後援・協力、上野恩賜公園でのふるさと物産展の応援など『会と故郷』との二軸を基本精神として活動を行ってまい

りました。

お陰様で、皆様の応援・ご協力を頂き、創立八十周年を迎えることが出来ました。

心より感謝申し上げます。近年のコロナ禍を含め、私たちが取り巻く社会環境も人間関係の希薄化が進むことが心配ではありますが、先輩諸兄姉が心血を注いで築いて下さった「東京出雲崎会」です。

私どもは、故郷との絆をより深め、創立百周年を目指し「愛郷一途」「故郷礼讃」の精神をもって会の継承と人材発掘・育成に取り組んでまい

「東京出雲崎会」歴代会長

初代	佐藤三千三郎
二代	相澤 猛
三代	佐藤三千三郎
四代	田中 吉次
五代	嶋川 善一
六代	青山 庄司
七代	大矢 政雄
八代	千代田 幸八
九代	丸山 幸保
十代	鳥井 練太郎
十一代	佐藤 憲一
十二代	津山 忠夫
十三代	内藤 久吉
十四代	伊藤 久勝
十五代	東條 玉英
十六代	岡田 齊
十七代	中川 久雄

会長挨拶

会長 中川 久雄

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます。

昨年は三年ぶりに東京出雲崎会の「定時総会・懇親会」を開催したいという願いを満場一致で役員会で決めて一同張り切つて準備に邁進しておりましたが二月に入りましてまた新型コロナウイルス・オミクロン株の大発生によりやむなく中止とさせて頂いていただきました。

役員一同



断腸の思いでございました。それより

もお申し込みをいただきご出席を楽しみにしておられた会員の皆様方には誠に迷惑をおかけいたしました。この場をお借りして深くお詫び申し上げます。今年は感染対策を万全にして会場のホテル側とも密に連絡を取りながら開催したいと思ひます。安心してご参加頂ければ幸いです。

東京出雲崎会も創立八十周年を迎えました。多くの先達たちがこの東京出雲崎会を継続させる為にたくさんの努力と汗を流してこの会を守つてきてくださいました。

私たちも頑張ります。皆様、ぜひ同級生やお知り合いの方に声をかけていただき四年ぶりの総会・懇親会においてください。心よりお待ちしております。

幹事長挨拶

幹事長 石川 庄一

謹んで新年の

お慶びを申し上げます。

昭和十七年に発足した東京出雲崎会も創立八十周年を迎えることができました。

これも会員の皆様、同郷の諸先輩、郷里のご理解と多大なるご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

私は昭和二十七年生まれの羽黒町

出身です。

もの心つ

いた頃の出

雲崎町は人

も多く活気

に溢れる町



でした。近くに漁港があり販売所から魚をぶら提げて帰つたことを思い出します。

昭和三十二年、第一回定時総会が日本閣で開催されました。平成二十三年東北大地震が発生、関東地方も影響をうけましたが令和元年の第六十三回まで途切れることなく開催することができました。又、会報誌も創刊から四半世紀になります。

コロナ禍により令和二年二月の定時総会は直前で中止、令和二年・四年と二年連続で中止となりました。

東京出雲崎会が創立九十年に向けて更なる発展と令和五年三月の第六十四回（八十周年記念）定時総会開催に向け努力してまいります。

定時総会で会いましょう！

80周年記念 定時総会・懇親会開催のご案内

◎日時…令和 **5** 年 **3** 月 **18** 日（第3土曜日） 4年ぶりの開催です
受付開始…午前10時30分より **楽しい語らいのひと時も！**
開会…11時30分 閉会…午後3時

◎場所…錦糸町 東武ホテルレバント東京 4階「錦の間」
（東京都墨田区錦糸1-2-2 ☎ 03-5611-5511）=別紙案内地図参照

◎会費…合計10,000円（年会費2,000円+総会懇親会費 8,000円）
ご出席の皆様に商品券進呈（500円/当日会場内のみ利用可）
※ 懇親会を皆様の同級会として活用されてはいかがでしょうか！？

●お問い合わせは…

石川幹事長まで 080-1300-3138

Eメール：ishikawashoichi7@gmail.com

<< 80周年記念事業を企画中です。>>

状況により中止の場合があります

ふる里と懐かしい顔がいっぺい！



東京出雲崎会のホームページも、大勢の方々から楽しんでご覧頂き、誠に有難うございます。会員相互のコミュニケーション、情報交換等の連絡の場としてもご利用下さい。毎月更新しておりますので友人・知人の方々にも、ご紹介頂ければ幸いです。

「東京出雲崎会のホームページ」URLアドレス

<https://tokyo-izumozakikai.jp.org/>

または

東京出雲崎会

検索

（出雲崎町のホームページにもリンクしております）



東京出雲崎会八十周年

記念誌発刊によせて

出雲崎町長 小林 則幸

東京出雲崎会が創立八十周年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されますことに出雲崎町民を代表しまして、心よりお祝いを申し上げます。

昭和十六年、出雲崎尋常高等小学校長などを歴任された故長谷川善作先生の法要の席上で「在京出身者の懇親会」が話題になり、その翌年のお盆休みに在京の出雲崎出身者数名の同窓会において、出席者から「出雲崎おけさで故郷の雰囲気を感じる会の創設を」との発言をきっかけとして、貴会が創立されて八十年。歴史ある東京出雲崎会として今日に至っております。

この間、六月に開催される出雲崎大祭の際にふるさと・出雲崎を訪れる一ふる里訪問交流バスツアーの実施や毎年三月に出雲崎出身者が集まる定時総会及び懇親会を開催されるとともに、「会報いずもぎき」の発行や近年では、東京出雲崎会のホームページ、YouTube等での情報発信が行われるなど、会の拡大・充実に取り組まれてこられました。

しかし、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルスの影響により、二〇二〇年から定時



東京出雲崎会八十周年

記念会報誌 祝辞

東京新潟県人会会長 小林 保廣

新年明けましておめでとうございます。十一月に完成いたしました

さてこの度東京出雲崎会八十周年記念会報誌の刊行心よりお祝い申し上げます。皆様方ご承知の通りここ二年はコロナ騒ぎで日本はおろか世界中が大変な事態となりました。飲食店の営業自粛や会合の禁止・イベントの中止等々行動制限を受けました。新新潟県人会館は一昨年

東京出雲崎会の八十年、誠にめでとうございます。先輩諸氏の郷土を想う熱い心と皆さんの努力により新潟県では組織力、活動力



出雲崎は心のよりどころ

出雲崎町 町議会議長 三輪 正

において「東京出雲崎会」の存在は常にトップクラスと聞いております。出雲崎町では令和四年秋に「良寛堂建立百周年」記念式典と全国良寛会総会が

全国から約三百人が参集し

ておりますし、昭和五十七年上越新幹線開通を記念し新潟県景勝百選が選定され「良寛記念館から見る日本海と佐渡」が1位に選ばれた事は有名な事です。

その地を故郷とした方々が多数集まり出雲崎町と強い絆で結ばれて懇親を深めることは喜ばしい限りです。ここ二年間はコロナ騒ぎで会合は開けませんでしたが、今年には新年祝賀会を開催する事としました。東京出雲崎会の皆様の多数ご参加をお願い申し上げます。

盛大に開催されました。また、出雲崎中学校では創立五十周年式典が開催され、新潟大学岡村鉄琴教授の揮毫による「心耕」の額が披露されました。

東京出雲崎会の皆様の皆さま、ふるさと出雲崎の発展に米・魚などの購入と事業推進の財源確保に「ふるさと納税」の利用をぜひお願いいたします。

東京出雲崎会が今後、益々発展され、会員の皆さまのご活躍を心より祈念いたします。



ハノコジヤ世代の今

出雲崎町 教育長 曾根 栄知

東京出雲崎会創立八十周年、誠にめでたうございます。この機会に、ハノコジヤ(じゃんけん)をして遊ぶ世代、故郷出雲崎町の小・中学生についてお伝えします。

今年度、出雲崎小学校は、児童数百六十三名、学級数十(各学年1+特支4)。出雲崎中学校は、生徒数七十五名、学級数五(各学年1+特支2)。十年前と比べると、児童生徒数・学級数とも増加はしていませんが、維持しています。

町の特徴ある教育活動としては、小・中学校の九年間を通して、良寛学習に取り組んでいます。良寛さまゆかりの場所を訪れたり、良寛さまの心を知ったりする活動を通して、キャリア教育を推進しています。現在の小・中学生も、東京出雲崎会の皆様のように、故郷への熱い思いをもち、たゆまぬ努力を続けていける人になれるように育ててまいります。

祝 80周年

東京出雲崎会 80周年記念に寄せて

出雲崎町 良寛記念館 館長 永寶 卓



東京出雲崎会創立八十周年、誠にめでたうございます。

八十年という永きにわたり東京出雲崎会が存続されてきましたことを思いますと、東京出雲崎会の会員の皆様の故郷、出雲崎町を想うお心が伝わってくるのであります。

人が生まれ出た土地を「故郷」であると感じることは、三つの条件がございます。

一つは、生まれたその土地で採れた作物を食し、その土地でこの身が育てられたという思いがあること。

二つには、その土地の風景がご自身の原風景として、郷愁の想いが起こることです。

そして、三つ目に、これは絶対条件として、生まれ出た土地に受け止められているという感覚があることです。

出雲崎町は、皆様を受け止める側として、これからも皆様が故郷出雲崎を思い出し、足を運ばれることをお待ちしております。



東京出雲崎会 八十周年を祝して

出雲崎町観光協会 会長 小林 等

ふるさと出雲崎に思いを馳せ、日頃から暖かいご支援をいただいている東京出雲崎会の皆様には、衷心より厚く感謝申し上げます。

この度、創立八十周年を迎えられますことに心よりお祝いを申し上げます。

改めて八十周年ということをお聞きして、人間で例えるならば長寿の祝い「傘寿」に当たります。これまで偉大なる諸先輩方々がふるさと出雲崎の繁栄を願い、脈々と築き上げてこられた

会の歴史の深さに、只々敬服するのみでございます。東京出雲崎会の皆様からは、引き続きお一人一人が出雲崎の観光大使として、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また皆様方が全国、ひいては世界においてふるさと出雲崎を誇れるよう、これからも頑張つて参ります。最後に、東京出雲崎会が益々発展されますことをご祈念申し上げます。祝いの言葉といたします。



このたびは、東京出雲崎会が創立八十周年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

結成以来、会の発展とふるさとを思う慈愛の心で尽力されている会員の皆様に敬意を表しますとともに日ごろより弊会の事業に対し心温ま

をいただき、盛況に開催できましたことに心より感謝申し上げます。今日はコロナ感染の影響により、故郷との往來を躊躇されるところではありますが、今後とも一層のご支援ご協力を賜り、活力のある出雲崎町の発展を目指し取り組んでまいります。

東京出雲崎会 創立八十周年を祝して

出雲崎町商工会 会長 大谷 清一



るご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

中でも地域振興事業におけるお盆の大花火大会協賛や、上野恩賜公園物産展、ネスパス新潟館などのイベントには多くの皆様からのお力添え

結びとなりませんが、東京出雲崎会の益々のご隆盛と会員の皆さま方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。創立八十周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

2022年度

令和4年度の出雲崎町の主な出来事をご紹介します。

(提供:出雲崎町・総務課)

ふるさと
便利

■ 多世代交流館きらり開設5周年

多世代交流館「きらり」が開設から5周年を迎えました。施設内の遊具のリニューアルからはじまり、わくわくきらりんピックなど年間を通じて様々な5周年記念イベントが開催されました。また、敷地内の農作物と触れ合う畑「きらりファーム」もピザ窯が設置されるなど大幅に改修され、大人も子どもも楽しめる多世代交流の場として磨きがかかりました。



■ 出雲崎町公設学習塾「まち塾」開塾



5月14日(土)に公設学習塾「まち塾」の開塾式が行われました。本町の小中学校生の学校外の学習時間が全国平均より短かったことがわかり、子どもの学習時間の増加を後押しするために開塾されたものです。本格的な公設塾は日本全国でも珍しく、進学塾がない小さな町ならではの取り組みであり、講師陣の思いと本気で学習に打ち込みたい子どもたちが集まってくれたおかげで実現することができました。

■ 第48回出雲崎町ほう賞式開催

昭和32年の旧出雲崎町と旧西越村の合併から今年で65周年を迎えたことを記念して、6月20日(月)に第48回出雲崎町ほう賞式を挙行了しました。式では被ほう賞者への表彰状授与のほか、合併65周年記念プロモーションビデオ「出雲崎の昔と今とこれから」が上映され、町の昭和・平成・令和の出来事を振り返りました。



■ 第71回船まつり・大花火大会3年ぶりに開催

8月15日(月)に出雲崎漁港で、第71回船まつり・大花火大会が開催されました。ステージイベントや大花火大会が開催されるのは3年ぶりです。ステージイベント



では出雲崎の特産品「良寛牛乳」をいかに速く飲み切るか競う「出雲崎競飲(けいいん)」が行われました。出場した勇者たちによる白熱した競飲に会場は湧き立ちました。

■ 良寛堂建立100周年記念



第44回全国良寛会出雲崎大会

第44回全国良寛会出雲崎大会が出雲崎町で開催されました。今年はお出雲崎町の代表的な文化遺産「良寛堂」の建立から100周年の記念すべき年。建立に携わった多くの先達への感謝の思いと、これからの良寛研究が益々発展することを祈念し、10月1日(土)には記念式典、2日(日)には「良寛史跡めぐり」が行われ、大いに盛り上がりました。

井之鼻会

伝統継承の集い

木折町会

ゆかり人^{びと}の語りべ処

羽黒町会

個性の花園

石井町倶楽部

良寛堂で共に遊んだ
竹馬の友の集い

住吉町会

飴獅子は我ら町内の誇り!

勝見尼瀬会

来た道程を共に
思い出として語り合う

祝 東京出雲崎会創立80周年



「地域のために、 地域とともに!!」

これからも地域振興の担い手として
歩み続けてまいります。

にいがた景勝百選 1位

海と山と歴史、良寛生誕の地、おけさ源流の地

出雲崎町商工会

三島郡出雲崎町大字羽黒町431-1

電話 0258-78-2064

FAX 0258-78-3693

URL <https://r.goope.jp//izumozaki-syo>

日本海と歴史が誘う浪漫街道、いずもぎき。

にいがた景勝百選1位の地
出雲崎



出雲崎町観光協会

(事務局 出雲崎町産業観光課内)

新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地

TEL 0258-78-2291

FAX 0258-41-7322

E-mail shakou@town-izumozaki.niigata.jp

URL <http://www.izumozaki80festa.jp/>

東京出雲崎会総会の歩み

(合併以降)

回数	年月日	会場	出席数	備考	回数	年月日	会場	出席数	備考	回数	年月日	会場	出席数	備考
1	昭和32.3.9	日本閣	61		25	56.2.7	東條会館	234		49	17.3.12	ロッテプラザ	237	
2	33.2.9	白雲閣	83		26	57.2.6	"	205	40周年	50	18.3.11	"	260	
3	34.2.7	芙蓉会館	61		27	58.2.5	"	196		51	19.4.14	東武ホテルバント東京	232	
4	35.2.14	"	69		28	59.2.11	"	219		52	20.3.22	"	240	
5	36.2.3	一平荘	57		29	60.2.9	雅敘園観光センター	190		53	21.3.14	"	250	
6	37.2.11	"	42	20周年	30	61.2.8	"	173		54	22.3.13	"	250	
7	38.2.10	"	43		31	62.2.8	"	138		55	23.3.12	"	124	大震災翌日
8	39.2.9	平和島ヘルスセンター	62		32	63.2.6	"	197		56	24.3.10	"	241	70周年
9	40.2.9	根津会館	84		33	平成元.2.4	ダイヤモンドホテル	187		57	25.3.9	"	215	
10	41.2.6	新世界	92		34	2.2.3	"	179		58	26.3.8	"	234	ジェロ出演
11	42.2.12	根津会館	138		35	3.2.2	"	167		59	27.3.14	"	230	
12	43.2.11	角萬	155		36	4.2.2	"	191	50周年	60	28.3.19	"	232	
13	44.2.9	"	157		37	5.2.7	"	200		61	29.3.18	"	156	
14	45.2.8	"	160		38	6.2.6	"	230		62	30.3.24	"	175	
15	46.2.14	雅敘園	213		39	7.2.11	ホテル海洋	180		63	31.3.23	"	208	
16	47.2.13	"	160	30周年	40	8.2.11	"	189		64	令和2.3.21	コロナ禍で中止	—	
17	48.2.18	"	139		41	9.2.23	"	204		65	令和3年	"	—	
18	49.2.16	"	166		42	10.3.7	"	170		66	令和4年	"	—	80周年
19	50.2.8	朝日生命	169		43	11.3.6	ロッテプラザ	212		67	令和5.3.18	東武ホテルバント東京	80周年記念総会	
20	51.2.20	"	165		44	12.3.11	"	220		皆様のご健勝と 今年こそ開催出来ますよう お祈りいたしております。				
21	52.2.11	豊島園	182		45	13.3.10	"	205						
22	53.2.4	東條会館	192		46	14.3.9	"	244	60周年					
23	54.2.3	"	180		47	15.3.8	"	225						
24	55.2.2	"	211		48	16.3.6	"	243						

速報

創立80周年記念企画

ふるさと交流懇親会

令和5年6月17日(土曜日) 東京出雲崎会主催

行事計画

参加者募集

17日

13時 JR長岡駅改札出口集合

↓ マイクロバス利用

13時45分 出雲崎着(みよや駐車場)



↓ 自由時間 出雲崎大祭見学
散策&墓参り等

20時～21時30分 **交流懇親会** (みよや) 町の有識者の方々を交えて

18日 (移動はすべてマイクロバス利用)

9時 みよや駐車場出発

↓
弥彦神社参詣

↓
天領の里(昼食)バラ園見学

13時 天領の里出発

14時 長岡駅着(解散)

会費 ◎お一人 8,000円(懇親会会費含む)

別途宿泊代/みよや6,600円・佐平次6,050円

◎交流懇親会のみ参加される方は6,000円

*宿泊先の予約を希望する方はお申し出下さい。

*定員(30名)、定員になり次第締切らせて頂きます。



申込・問い合わせは

文化委員会

委員長 大槻 鈴子

090-6564-9964

←写真は第6回懇親会参加者の皆様



継続発展を願って

東京出雲崎会 副会長 細木 慎司

夕渚会 住吉町出身

創立八十周年

おめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。

歴代会長を始め諸先輩方々の並々ならぬご努力の積み重ねによつてここに八十周年を迎えることが出来たこと深く感謝と敬意を表します。

故郷を離れて年月が過ぎますと昔のなつかしい思い出が湧いてきます。

東京出雲崎会としては同級会・町内会等の集まりを各々計画して頂きお互いが田舎言葉でにぎやかに故郷を懐かしみ、思い出を語らう中から

故郷出雲崎への郷土愛をはぐくむ気持ちが生まれ、長い八十年という歴史継続に連なつて来た証であると思つております。

会員の皆様は東京出雲崎会の大切な財産です。

これからも人と人・心と心のつながりを大切に一人一人が強い絆を持つて故郷をおもんばかり、愛しながら東京出雲崎会継続の秘伝を引き継ぎ、この先十年・二十年と継続発展して行くことを心から願つております。



愛郷・礼賛を原点に

東京出雲崎会 前会長 岡田 齊

ねらの会 住吉町出身

創立八十周年

誠におめでとうございます。

私は東京出雲崎会の発足と同じ昭和十七年生まれの八十歳です。

東京に出て、十代の後半だったと思います。「親をも愛せない者が、

なんで他人を愛せようか、その無慈悲な自分を乗り越え、成長してゆくの

が人としての道ではないか」との主旨の話を聞いた思いがあります。

故郷に対しても同じようなことが言えるのではないかと思います。

「故郷を愛せぬ者は・・・」



出雲崎に出会える幸せ

東京出雲崎会 前副会長 中村 栄子

三七寛の会 石井町出身

しました。

同級生にも呼びかけ若い人達が大量集るようになり各テールには、年代別に各会の名札が立てられました。

出雲崎おけさ・各町会の獅子舞いと、東京にいて盆と正月が一緒に見られる幸せを感じる懇親会です。

又、出雲崎訪問では六月の祭礼に合わせバスを借り切りお祭りも見学する事が出来ました。役員さんには感謝致します。

これからも出雲崎会が永く続きますよう願つて折ります。

東京出雲崎会を初めて知ったのは十九才頃でした。大塚駅前角の角萬の大広間で四十人位の出雲崎出身の方々の集まりの会でした。「出雲崎おけさ保存会」が発足し踊り子がいないとのことで東京にいた私が呼び出され踊つて来ました。出雲崎弁が飛び交い皆さん楽しい一日を過ごされました。船橋屋さんご夫婦も出雲崎の土産物をおいで来ていました。何年たつても忘れる事は出来ません。

その後何年かして入会致

四十路の声を聞き、三十九年振りに同級会に参加し、なつかしい友と再会しました。

その時、東京出雲崎会の存在を知り、誘われるがままに役員をうけ、今に至っています。

初めて参加したロッテ会館での総

会は、あまりの人数の多さに目を見張りました。

そして、会議に出席するたびに、友との会話を楽しみ、おいしいお酒を味わい、ふる里を肌で感じながら十八年の時がすぎました。



思い出多き会活動

東京出雲崎会 前副会長 宇賀神 登代子

ヒキリゴの会 住吉町出身

七年続いた「ふる里バスツアー」は準備に時間を費やしましたが参加いただいた方々には、充分に出雲崎を味わっていただけだと思います。

又、平成十六年の総会では、ジェロさんとの掛け合わせの司会も良き思い出として残っています。おばあちゃん思いのやさしい青年でした。

そして毎年、住友不動産本社でお会いした故高島会長の胸の広いやさしさにも触れることができました。私の役員人生も有意義なものだったのでは？と思いました。



八十年の佳節に想う

東京出雲崎会 前会計監査 東 建一
浜友会 尼瀬(豊洲)出身

東京出雲崎会が創立八十周年を迎えます、誠におめでとうございます。私は、昭和十八年生まれで八十歳、傘寿です感慨深い思いです。

この十年を振り返ってみると地震、噴火、台風、風雨での洪水など自然災害に見舞われました。

また年号が平成から令和に変わった事。コロナの流行で東京オリンピック・パラリンピックは一年延期して無観客での開催となり。東京出雲崎会も会員の健康を考慮して開催の延期が三年も続いてしまいました。



良寛堂での思い出

東京出雲崎会 副幹事長 大槻 鈴子
夕渚会 石井町出身

良寛堂の前で生まれ、松の枝越しに日本海と佐渡を眺め大きくなりました。

私達、石井町の子供達にとつて、良寛堂の広場は丁度良い大きさの遊び場でした。

缶けり、縄跳び、ノック、キャッチボールと成長と共に遊び方も変わり周囲の石垣間を跳んだり良寛堂の裏から砂浜に飛び降りたりしました。

六月の石井神社大祭(当時)、八月の花火大会後の盆踊りに良寛堂に大勢の人達が集

う、あの喧騒を体感するのが大好きでした。

秋も深まるとお堂は板塀に覆われ、厳しい冬が近づいていることを教えてくれましたし、大雪の時は道路の除雪した雪を全部引き受けてくれました。

コロナ過等もあり、故郷は遠くなり、石井町会で思い出を共有する楽しみも間遠になりましたが、私の家のリビングの壁には娘が高校時代に描いた良寛堂の絵があり、日々元気をもらっています。



幼少時に受けた涵養

東京出雲崎会 副幹事長 関本 博明
夕渚会 石井町出身



東京出雲崎会が創立八十周年

誠におめでとうございます。

私が生まれる前からこの様な会があったとは思いませんでした。

良寛堂脇で育ち何時も裏の広場でみんなと一緒に遊んだことが思い出させられます。

また幼いころイワシ網漁に時々乗せてもらい大漁だったことや取れたイワシをバケツに山盛りいっぱい貰い家に持ち帰ったこと。

隣の船ではマスのはえ縄漁で銀ピカのマスが大漁だった時もあったり

していました(今思うとヤマメの海降型・サクラマスですね)。

夏の夜の楽しみの一つとして夜釣りをしてしながら、波打ち際で砂に触れるとパツと光る『海ほたる』が大変幻想的でした。

竹の筒に錘を付けて間に紐を張り空き缶を付けてのタコ取り、その身の『柔らかくて美味しかった』ことなども大きな思い出です。

海と魚釣りが大好きな君(私)、今では広がった浜辺も無くなつてさみしく思う。

古へに 変わらぬものは 荒磯海と 向かひに見ゆる 佐渡の島なり

いつも出雲崎を想う時、この良寛さまの和歌が心に浮かびます。

故郷を離れて五十五年、まだく

出雲崎を想う

東京出雲崎会 副幹事長 今井 妙
夕渚会 井鼻出身



人は生まれた時、最初に吸い込んだ空気は一生、肺に残っていると聴いた事があります。何と嬉しく誇らしい事ではありませんか！

小学生の帰り道、家々のラジオから流れていた「昼の憩い」のテーマ

に、よくぞ東京出雲崎会を設立してくださいと、当時の方々に驚きと共に大変感謝しております。

今もそうですが「出雲崎おけさ」は故郷への熱い想いと絆を深めてくれる大切な心の寄り処なんです。

諸先輩の情熱に敬意を



東京出雲崎会 副幹事長 長谷川 進

獅子の会 木折町出身

東京出雲崎会の創立八十周年を迎えた事。大変めでたく、諸先輩方の故郷に対する思いと情熱に敬意を表します。

私がこの会に関わりを持ってまだ僅か十年余りですが、先輩方に温かく迎えられ、同級会では味わえない別の楽しみがあり出雲崎を想ういい機会になっています。

我々昭和四十四年に出中を卒業した同級生は個々には連絡を取ってはいたものの、出雲崎の同級生が青山の新潟館ネスパスの催事で上京する

に合わせ同級生のレストランに集い楽しいひと時を過ごしていました。

そして東京出雲崎会への参加をきっかけに「獅子の会」と命名し年一〜二回ワイワイガヤガヤと集うようになりました。しかしここ数年コロナ禍の影響で中止を余儀なくされ皆寂しい思いでいるのではないかと思うとともに、古希目前の同級生との再会を願っています。

伝統ある東京出雲崎会が進化・継続できるようにお手伝い出来ればと思います。

笹団子の思い出



東京出雲崎会 幹事 野崎 秀憲

六月例大祭が近づくと我が家も笹団子作りの準備が始まりました。

私が小学三年頃の記憶です。母親に連れられて裏の土手を上がりバスが通る新道に出ると餅草と呼ばれたよもぎの草が沢山生えています。

どれだけ取ったか覚えていませんが、一家が食べる餅に入れるだけだから大した量ではなかったでしょう。家に帰ると、おばあさんが小豆を茹でていたように思います。それから先は思い出せません。



う・たつの会 石井町出身

気が付いた時は笹団子の状態で天井にぶら下がっていました。

笹の葉が乾いてきたら食べる時、カサカサと乾いた音を立てて団子が現れて来ました。あんこの入った団子は美味しかったですね。

我々が子育てしていた頃は良く送ってくれました。

六月の祭りには帰れなくとも笹団子でチャンチャコチャンの音・浜焼きの匂いを思い出していました。

懐かしさを思い出せる会



東京出雲崎会 幹事 大磯 政之

獅子の会 羽黒町出身

東京出雲崎会の七十周年の節目の年に広報・ホームページ(HP)担当役員で入会して十年目を迎え、会員・非会員も参加する同級会や町内会等の懇親会開催情報を寄稿頂き、HPに掲載してきました。

その開催状況を見るに多くの世代で共通に望郷の念にかられている状況を知りました。

以前は何気なく読んでいた、HP掲載の「東京出雲崎会のあゆみ」にある「設立の起因/町村合併に伴う新生の会誕生/

会旗新調の思い出/活動の推移と状況」また、締め「常に、会と故郷との二軸を基本として、懐かしがりやの会を標榜して活動・・・」がまさにこの会設立の原点である事を改めて思ったものでした。

今八十周年を迎えるに当たり、設立発起人やそれに続いた人々の思いの下に、時代背景による生活環境の変化の中ではありませんが「懐かしさを思い出せる会」として、会の継続・運営に微力ながら果たせたらと考えるものです。

「八十周年

おめでとうございます」

いやあくもう半世紀(五十年)上京し、時の経つのは早いものです！歳を重ね、良きこと・悪しきことを懐かしむ想い、過ごした時節は各々違っていますが、皆さんも色々な光



東京出雲崎会 幹事 池浦 和子

獅子の会 木折町出身

ふるさとへのノスタルジー

景がフラッシュバックして甦りませんか？！

ホラ貝と太鼓が曇天の冷気に響き、獅子が乱舞し家々を廻る新年。登校坂道の桜並木、オタマジャクシが泳ぎ野鳥が囀る、麗らかな春。水着の

も心配で、若い世代が移住を考える魅力ある町へと生まれ変われる手段

・対策がないものでしょうか？ 今後自然豊かな・人に優しい、帰省地として、いつまでも存続する町であって欲しいと願う私です。

故郷…出雲崎の思い出



東京出雲崎会 幹事 浅野 康之
ありそみ会 木折町出身

私の出雲崎の思い出の一つ、新潟沖地震についてお話しします。

学校の昼休みに地震が発生し、急遽帰宅指示が出て帰るものの、家には誰もいません。

浜辺に出てみれば数メートルも潮が引いていて、取り残された魚が海藻に引っ掛かり、子供ながらにそれを一生懸命捕獲していました。

暫くして姉が迎えに来て慌てて裏山に避難しました。東日本大震災災程大きくないものの、後ろから追いかけてくる津波から無事、逃げることに

ができた事を憶えています。

そんな浜辺も今は道路ができて砂浜もなくなりましたが、帰省時に新道から見える日本海と出雲崎の街並み、沖の佐渡が島はいつでも昔の思い出を懐かしく呼び起こしてくれます。



私にとっての宝物

東京出雲崎会 前幹事 本村 敏子

う・たつの会 稲荷町出身

七十歳を過ぎて「出雲崎の四季フォトコンテスト」の何枚もの写真を目にしながら過ごしているこの頃です。

と言うのも九十八歳の母の介護の為に草加の実家で生活をして三年程二十五年間出雲崎で教師をしてきた母と二人です。何かにつけて出雲崎での出来事が繰り返し湧き出る日々です。

細長い町並みで小学校は上校、下校と別れていた為か、尼瀬出身の私には文化祭や学芸会で下校舎へ行く

事は未知の世界へ入り込むといった緊張感がありました。

下校舎内で迷った事も：

小学校の遠足で井ノ鼻の先の小さな川と滝が見える浜まで歩いた時には町の長さに驚き、中学時代のマラソン大会では折り返してから苦しくて歩き出してしまい町の長さを恨んだ瞬間もありました。

その町並みや灯台からの眺めが懐かしくて仕方ありません。

出雲崎は宝物です。



「八十周年記念」に寄せて
東京出雲崎会 元副幹事長 東條 國榮
出中十四むつみ会 岩船町出身

東京出雲崎会・創立八十周年おめでとう御座います。

当会発足時の事は、直接お話を伺う機会には、巡り合う事の無かった私ですが、一寸だけ「昭和十年代半ば出生」の先輩方々に教えて頂いた事が、「昭和十五年頃一何やら不穏な空気が漂う国情の中：就職先を求め「首都圏へ」と町を離れた諸先輩の方々が慣れない環境の中、一生懸命に故郷を思い、歯を食い縛り日本海魂？で、日々頑張ってきたら、盆が

過ぎ、暮れが迫る中、望郷への念は募るばかり、そんな時に同時期離郷の先輩方々が連絡を取り合い「主に京浜地区の方々」と聞いておりますが、せめて皆で集まり「故郷」の話で一杯やらないか等々の事で、本会が発足のルーツだと何とて居ります。以後、先輩役員諸氏の大変なご苦労、ご努力で「組織基盤」を整えて今日の「東京出雲崎会」があると。今後もコロナ禍・時代変化等、難局も多々あると思えますが会員笑顔の会運営に期待致します。

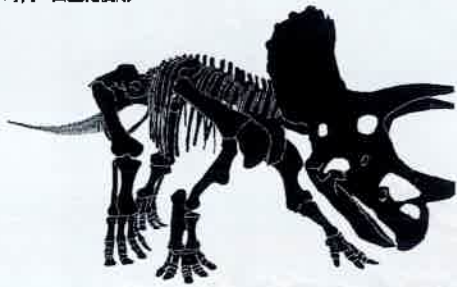


昭和10年代ころの石油槽（尼瀬）



昭和5年当時の販売所付近（羽黒町）

名称：トリケラトプス 産地：北アメリカ
時代：白亜紀後期



株式会社 パレオサイエンス
Paleo Science Corporation

代表取締役 中川 久雄
(夕渚会/羽黒町出身)

〒107-0052
東京都港区赤坂3丁目11番14号 赤坂ベルゴ511
TEL: 03-5575-3651 FAX: 03-5575-3652
E-mail: info@paleo-science.co.jp

先進ニーズへの
「ご提案」と「環境調和」が
コンセプトの会社です。



サイン&ディスプレイ製作・施工

有限会社 東條 工芸

代表取締役 東條 國榮
(出中十四むつみ会/岩船町出身)

〒121-0831
東京都足立区舎人2-9-1-203
TEL 03-3857-0627
FAX 03-5647-6172
携 帯 090-1656-3131
E-mail: tojo-kougei@dc4.so-net.ne.jp
【工場】
東京都江戸川区中央3-6-14

HCC 印刷を創る

各種印刷から加工まで



有限会社 アイ・ディー・スィー

代表取締役 岡田 齊
ねらの会所属/住吉町出身

〒274-0812 千葉県船橋市三咲2丁目8番地12号
TEL.047(448)2293 FAX.047(448)2595
E-mail: ido@diary.ocn.ne.jp



株式会社 アイザワビルサービス

代表取締役 相 澤 仁
しんゆうかい
(申酉会/羽黒町出身)

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
新宿住友ビル
TEL 03-5909-2413
FAX 03-5909-2423
http://www.aizawa-rm.co.jp

車検・一般整備・新車・中古車販売・钣金塗装・保険代理店



有限会社 松浦自動車

販売部 マツウラオート(株)

代表取締役 松浦 良雄

工場 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2丁目18番18号
展示場 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西3丁目2番3号
TEL. 03-3334-4361 FAX. 03-3334-4462
メールアドレス: info@ucar-matsura.jp

年会費の納入に
ご協力を!

当会が淀みなく運営される
のも、皆様からの年会費が大
きな役割を果たしております。
心より感謝申し上げます。
又、今回の定時総会に都合
で欠席される方々には、お手
数をお掛けいたしますが、同
封の郵便替用紙にてお振込
下さいますよう謹んでお願い
申し上げます。

会計委員会

「編集後記」

昨年の八月十五日は船団パ
レードこそ出来なかったが、
大花火大会は三年ぶりに開催
されたと聞いて嬉しかった。
時の流れの中で変わった事
と変わらない事もあります。
出雲崎の年中行事の思い出は
郷愁としていつの時代になっ
ても変わらず私たちの心に残
ってゆくことでしょうね。
八十周年という長い年月。
設立当時からの話を伺いた
いと思えば今はかなわぬ夢。
伝え聞いている方がおられ
ましたら、どうぞ東京出雲崎
会にご寄稿願います。

(今井 妙)

2023年度の事業予定

- 1月21日(土) 役員会 (会報発送作業)
- 2月4日(土) 役員会 80周年記念総会取組み等の打合せ
本年度活動方針 他
- 3月18日(土) 2023年度 80周年記念
定時総会&懇親会
- 4月8日(土) 役員会 新年度活動方針の審議/来年度
- 6月17日(土) 出雲崎大祭(予定) 故郷交流懇親会
- 7月15日(土) 編集会議(会報26号)・各委員会・役員会
行事参加と出費審議。諸行事報告と取りまとめ 他
- 8月15日(火) 船まつり・花火大会(予定)
- 8月16日(水) 出雲崎町成人式(予定)
- 9月9日(土) 各委員会・編集会議(会報第26号)
- 11月4日(土) 会報編集会議(26号原稿締め切り)
- 12月2日(土) 各委員会・役員会 来年度総会の件
会場案内状の件/各行事参加報告 他
- 2023年度「新潟県人会関係」他
- 1月28日(土) 新年祝賀会 榎山荘
- 4月 日時未定 新潟市出雲崎会「総会」新潟市・秋やま分店
- 7月 日時未定 納涼大会 榎山荘(予定)



出雲崎町

**いままでも、これからも、
住み続けたい 関わりたい 帰ってきたい
出雲崎**

**故郷を愛する皆さまからの
『ふるさと納税』をお待ちしています**



ふるさと納税は
こちらから